

町民の皆さんの身近な相談相手として 「民生委員・児童委員」が新たに委嘱されました

民生委員・児童委員が任期満了により改選され、12月1日より新たに厚生労働大臣から委嘱されました。

任期は3年間で、町民の皆さんの福祉向上のために活動します。身分は、非常勤の特別職の地方公務員となっております。

各地区の民生委員・児童委員は、下記の方々です。

相談内容に関する秘密は固く守りますので、お気軽にご相談ください。

民生委員・児童委員とは

「民生委員」は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助や支援を行い、社会福祉の増進に努めます。

「児童委員」は、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談や支援を行うもので、民生委員が児童委員を兼ねることになっていきます。また、子どもや子育てに関する支援を専門に担当

する「主任児童委員」が配置されています。

仕事の内容は

地域の方が安心安全に暮らせるよう、自らも地域住民の一員として、生活上の課題を抱え支援が必要な人の身近な相談相手となり、助言および見守り支援や、福祉サービスなどの情報の提供を行い、行政などの関係機関による支援へのつなぎ役となります。このために、担当区域内の高齢者などの生活状態を把握し、地域の関係機関と連携し、その業務に協力しています。

無報酬の活動

民生委員・児童委員には給与・報酬はいっさい支給されず、ボランティアとして活動します。交通費や通信費などの活動費だけが支給されます。

秘密保持と研さん

民生委員・児童委員は、



1_ 民生委員・児童委員の54人に佐藤町長から委嘱状が手渡された
2_ 公園内遊具の安全点検の様子



活動をを行うにあたって、個人の人格を尊重し、その秘密を守ります。差別的、優先的な取り扱いもしてはいけません。また、地域住民が抱える問題は多様化し、その内容も複雑になってきているため、毎月、支援方法についての研修を行っています。

【問い合わせ】

健康福祉課福祉係
☎ 86-0111

町民生委員児童委員協議会事務局（町社会福祉協議会内）
☎ 86-0150

白鷹町民生委員児童委員協議会

【会長】小松 行信さん
【副会長】菅間 道雄さん

各地区の民生委員・児童委員

担当町内（組）及び担当者名（敬称略）

■ 蚕桑地区	
蚕桑1・2	長澤千恵子
蚕桑3・4	今野きよ子
蚕桑5・6(1・2)	佐藤眞知子
蚕桑6(3・4)・7	金子由美子
蚕桑8・9	小谷部牧子
蚕桑10・11	小林 隆志
蚕桑12・13(1・2・3・4)	丸川 節子
蚕桑13(5・6・7・8)・14	後藤きよ子
蚕桑15・16	菅 昭
蚕桑17・18	岡部 仁
蚕桑19・20	高木志津子
■ 鮎貝地区	
鮎貝1・2	菅 秋子
鮎貝3・5・6	小口 宗子
鮎貝7・8・14	齋藤 洋子
鮎貝4・9	迎田 進

鮎貝10・12	菊地 豊宗
鮎貝11・15	安彦 和子
鮎貝13	横澤 峯子
高岡1・2	村上 清一
深山1・2	羽田 忍子
■ 荒砥地区	
八幡1・2	相田 正子
新町	高橋 章
上町・出来町1	小松 行信
出来町2	山田 敏弘
横町1・2	蒲生 成子
仲町1・2	尾西 幸子
仲町3	小林 里子
仲町4	上村とよ子
貝生1・2(1・2・5)	菅原 保明
貝生2(3・4)・3・東部4	佐竹 正子
菖蒲1・2	今野 和子
下山	奥山 薫
佐野原・大瀬	五十公野敏美
■ 十王地区	
十王1・2	守谷 和枝
十王3・4・5・9	齋藤みち子

十王6・7・8	守谷 文子
十王10	土屋 重子
■ 鷹山地区	
下折居・上折居	齋藤 良子
西原・東小手沢・細野	小関 新治
山道・南	海老名みつ
西・新屋敷1・2	守谷美年子
中田・原・上原	沼澤 富雄
堀之内・北原・針生	鈴木 成子
■ 東根地区	
南部1・2・3	菊地 幸子
南部4・5	鈴木 みち
中部2・3	新野 吉信
中部1・6	小野 吉一
中部4・5	横山 重弘
北部1・2	菅間 道雄
北部3・4	布施 房子
東部1・2・3	中島 勲司
主任児童委員	
主任児童委員	長谷部 直
主任児童委員	黒沢 昭子
主任児童委員	鈴木由紀子

今、自分にできることを見つけよう オリンピック講演会を開催

12月7日、オリンピック講演会が開催され、シドニーオリンピック女子ソフトボール銀メダリストの松本直美氏を講師に迎え、「今を大切に」と題して講演をいただきました。

シドニーオリンピックでの試合中、相手選手との接触により足に大けがを負った松本さん。仲間には打ち明けず、今自分がチームにできることを見つけ、やり遂げた経験を明かし、「ケガから学ぶことはたくさんある。ケガをしても悲観しないことが大切」と話しました。また、東日本大震災の経験から、「スポーツを続けられるのは人と人とのつながりがあるから」と話し、一緒にプレーする仲間や支えてくれる家族、地域に感謝する大切さを伝えてくれました。



自身の経験から学んだことを参加者に伝える松本さん

良い年を迎えられますように 鮎貝地区で親子ミニ門松づくり教室

12月22日、鮎貝地区コミュニティセンターで親子ミニ門松づくり教室が行われました。

これは、鮎貝小学校の児童を対象として行われている「ふるさと塾」の一環として開催され、今回は地域の方々にも参加をいただきました。講師の方々から門松が持つ意味や作り方の説明を受け、早速作業に取りかかる参加者たち。はじめの縄の縛り方から悪戦苦闘するも、親子で協力し合い、やっとのことで型が完成。最後の飾り付けでは、松や南天の一本一本の長さや角度など、細部にまでこだわりを見せ、それぞれの個性がとても輝いていました。約2時間の作業を経て、すべての参加者が素敵な門松を完成させました。手作りの門松を飾り、良い年を迎えていただきたいです。



1. 最後の仕上げにかかる親子 / 2. 完成を喜ぶ親子
3. 参加者全員で記念撮影



大滝いせさん（左）と佐藤町長

この日は、大滝さんが役場を訪れ、町長に面会し直接手渡されました。大滝さんは、「未来の白鷹町を担う小・中学生の育成のために使ってほしい」と話されました。

このご厚意は、本町の人づくりの充実発展のために、有効に活用させていただきます。

町への寄附に感謝

12月12日、大滝いせさん（荒砥乙）より、本町の教育の発展を願い、多額の寄附をいただきました。